

総合工学委員会総合工学企画分科会（第25期・第3回）議事要旨

1. 日 時 令和4年3月31日（木）10:00～12:00
2. 会 場 Zoomを用いてのオンライン開催
3. 出席者（敬称略）小山田 耕二、玉田 薫、筑本 知子、吉田 文、吉村 忍、伊藤 貴之、岩城 智香子、塩見 淳一郎、辻 佳子、寺崎 一郎、出口 康夫
4. 議 題

- 1) 前回議事要旨（案）の確認（資料1-1、1-2）
- 2) （話題提供1）テーマ「九州大学共創学部がめざす教育」（資料2）
九州大学総長特別顧問・名誉教授 岡本 正宏氏

九州大学の岡本氏より、九州大学共創学部の設置の経緯、教育理念、育てたい学生像、カリキュラム等についてご紹介いただいた。現状の教育では、SDGs等の社会課題に立ち向かうために必要な、未来の到達点を定め、そこからバックキャストでコレクティブインパクトの手法をファシリテートできる人材が養成できないという問題点を指摘し、その上で、総合工学に求めることとして、学部教育から、社会的課題に目を向け、専門的知識・技術を結集させ、課題解決に至るプロセスを具現化させ、大学院でビジネスモデルまで発展させる学部・大学院連携教育モデルが必要ではないだろうかと提案した。

ご講演の後、現在の多くの大学での教育のなかで、どの段階でどのような形で共創プログラムを入れていくのが良いのか？共創という名称のつく学部が増えてきているが、その名称はどこも同じ意味合いで用いているのか？九大の共創学部卒業生の進路や高校での理数科目の履修状況に応じた授業のフォローアップ体制、学部の教員体制等についての質疑があった。

- （話題提供2）テーマ「総合知をはぐくむためのオンデマンド教材」（資料3）
（株）ベネッセコーポレーション大学・社会人事業開発部 黒岩 友樹氏

ベネッセの黒岩氏より、ベネッセがサポートしている様々な大学の教育DXの事例についてご紹介いただいた。オンライン教育の導入がすすむ背景には、大学では予測できない変化の多い時代をいく抜くための「総合知」を育む教育が求められていること、また企業と個人の関係性の変化により、学修者が生涯学び続けられるための多様な柔軟な仕組みが必要とされつつあることなどを事例を紹介しながら解説した。

- 3) 「総合工学教育検討小委員会」設置について（資料4）
資料4をもとに総合工学教育検討小委員会の設置が提案され、メンバーについて、本日の話題提供者である岡本先生と黒岩氏に加わっていただくことの内諾を得た。具体的な設置提案書については、本分科会終了後、メール審議することになった。

5. 配布資料
資料1-1 総合工学企画分科会25期第2回議事要旨
資料1-2 総合工学企画分科会25期第2回議事メモ
資料2 九州大学共創学部がめざす教育
資料3 総合知をはぐくむためのオンデマンド教育
資料4 総合工学分野の課題検討『教育』
参考資料1 第25期日本学術会議総合工学委員会総合工学企画分科会名簿